

指定管理施設モニタリングチェックシート

(令和3年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)

施設名	山田地区活性化センター	指定管理者	山田地区自治会 会長 塚本 雅英
指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日	担当課	農林課 (生月支所地域振興課)

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比較 (B/A×100)	
業務の遂行状況	開館日数(日)	157	83	52.9	
	延べ利用者数(人)	4,478	1,668	37.2	
	事業開催回数	必須事業(回)	0	0	0
		自主事業(回)	0	0	0
収支状況	収入	指定管理料(円)	1,123,000	791,000	70.4
		利用料収入(円)	151,000	97,000	64.2
		自主事業収入(円)	0	0	0
		その他の収入(円)	313,000	3,000	1.0
	収入計(円)		1,587,000	891,000	56.1
	支出	人件費(円)	0	0	0
		維持管理経費(円)	1,582,000	301,000	19.0
		自主事業関係経費(円)	0	0	0
		その他の支出(円)	5,000	0	0
	支出計(円)		1,587,000	301,000	19.0
収支(収入-支出)(円)		0	590,000	0	

指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数は、年間計画の5割を越えているが、利用者数は4割を下回っている。	【事業の実施状況について】 コロナ過の影響もあり、前年度と同様の実施状況である。下半期にかけて、各種事業の実施が増加することを期待する。	【収支状況について】 電気料の削減により維持管理経費が縮減され適切な運営となった。
--	--	---

所管課の評価(指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 事情により指摘事項なし。	【事業の実施状況について】 事情により指摘事項なし。	【収支状況について】 経費削減に努めており適正。
--	--------------------------------------	------------------------------------

2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
	利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	○適正・要改善	○適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適正津であり、市への通報体制が整っている。	危機管理マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備業務など利用者への安全対策が講じられている。	実地	○適正・要改善	○適正・要改善
透明性・公平性	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
効果的・効率的な運営	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ごみの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善

※評価基準

「適正」:その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」:その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見(改善点、その他特記事項)
特になし
所管課による所見(指摘事項など)
特になし